

ピープルズ・ホープ・ジャパン 2015年度 事業計画

1. 概要

PHJの海外支援については、インドネシア、カンボジア、タイ・ベトナムの支援事業の継続とともにミャンマーのタコンタウンシップに事務所を開設し具体的な支援の第一歩を踏み出す予定です。

また東日本大震災支援については引き続き全日本病院協会と連携して被災地の病院機能の復興支援と仮設住宅や周辺住民への医療サービスが充実するよう医療器材の寄贈・ドクターカーのメンテナンスなどを支援していきます。

2. インドネシア支援 (総事業費 1,525 万円)

① バンタン州地域保健医療システム強化事業 (自主事業)

西ジャワのバンタン州セラン県テイルタヤサ自治区での安全な出産と子供の健康な発育を目指すこの事業は、完全自立化の地固めプログラムの最終年度です。保健センタースタッフが主体となり、月例母子保健活動アプローチ1では助産師がリーダーシップを発揮して助産師検診率と助産師出産介助率95%以上の維持を、栄養改善活動アプローチ2では助産師とヘルスポランティアのリーダーシップにより栄養教育・調理実習と教育教材としての開発メニュー本の完成を、地域医療・保健強化アプローチ3では助産師研修による能力向上と救急搬送システムの構築支援を、また自治区役所・保健局との協業による小学校と家庭の衛生環境を改善するアプローチ4ではトイレ・ゴミ捨て場使用率80%以上を目指すなどの活動を推進することにより自立を促します。

なお、バリ州で実施予定だったHIV/AIDS・感染症予防教育支援は、許可が得られる見通しが低いいため、今期は計画に入れないことにしました。

3. カンボジア支援 (総事業費 1,735 万円)

① コンボンチャム州母と子のための地域保健システム強化事業 (補助金事業)

これまでのコンポントムから移転し、新たな活動地コンボンチャム州で、母子が継続的に保健サービスを受けられるようになる支援を3年間行う予定です。「保健行政区能力強化」「助産師育成」「保健センターの機能強化」「地域住民の意識向上」を4つの柱として、それぞれの目的を達成する活動を展開します。初年度は、保健行政区スタッフなどの主要関係者を対象としたトレーニングを実施し、助産師育成や保健センター設備支援の計画や実施に当初より行政区が関わり、オーナーシップを発揮できるような活動を行います。同時に保健センタースタッフと協働して村の保健ボランティアを育成し、村での保健教育を推進していきます。

4. タイ支援 (総事業費 3,244 万円)

① HIV/エイズ予防教育事業 (補助金事業)

3年事業の2年目となる今年度は、新たな6つの高等専門学校を対象にHIV/エイズ予防教育を行います。ピアエドゥケーター自らが次年度のピアエドゥケーターを育成するサイクルを作り、ピアエドゥケーターと学校職員やチェンマイ県保健局職員とのネットワークを構築することで、事業終了後も持続するように働きかけます。

② HOPE パートナー教育支援 (自主事業)

1998年以来継続しているプログラムに残った国籍のない子供を含め24名に対して、看護師・理学療法士と共に家庭訪問し、リハビリ治療を行うなど、個別対応のホームケアに力を入れて継続していきます。

③ 小児先天性心臓病手術支援 (自主事業)

今年度は多くの企業からの支援のもと、子ども達の心臓病手術支援を行います。チェンマイ大学病院および

ランバン病院での手術を行い、タイ国籍を持たない子供への支援も増やします。また、地方に住む心疾患の疑いのある子供を救うため、チェンマイ大学病院の小児心臓外科医が医療器材を持ち込み、移動検診を実施します。

④ ベトナム乳がん検診推進事業(自主事業)

2013年1月よりベトナム・ウィメンズ・ユニオン(VWU)と協同で開始した乳がん早期発見事業(3年間)の3年目を推進します。

5. ミャンマー支援(総事業費 1,370 万円)

保健省との合意書締結の進めながら、計画されている医療機器の寄贈、ステーション病院の改築補修を進めます。また、駐在事務所をタツコン・タウンシップに設置し、現地保健局・病院のパートナーと今後の母子保健の活動を地域で開始するための調整を行います。活動内容は、助産師育成、助産師ネットワークと地域の協働促進、村での保健教育を実施する予定です。

6. 東日本大震災支援活動(総事業費 1,400 万円)

被災地の復旧・復興を祈願し、現在も企業や個人の方々から寄付を続けていただいています。気仙沼市は地元にも密着した民間クリニックや小規模の医院が多く、大病院までの通院が困難な地元住民の完全復興への期待が大きく、引き続き医師会と連携して医療機関へ第四次支援を計画しております。石巻市、多賀城市も寄贈した医療機器やドクターカーのメンテナンスを中心に支援活動を継続していきます。

以上

2015年度 予算 (2014.7.1 ~ 2015.6.30)

(海外分を含む)

(単位 円)

科 目	2014年度		2015年度
	予算	決算	予算
I. 収入の部			
1. 現金寄付	82,000,000	88,322,348	77,730,000
法人	57,500,000	61,010,438	53,730,000
個人	7,600,000	6,936,780	7,000,000
パートナー	2,000,000	1,963,000	2,000,000
一時寄付	6,000,000	7,108,015	7,000,000
災害寄付	8,900,000	11,304,115	8,000,000
特別寄付	-	-	-
2. 商品寄付	1,400,000	10,322,631	10,000,000
3. 公的補助金	26,580,000	23,205,940	31,040,000
4. 雑収益 (利子等)		63,680	
当期収入(現金)	108,580,000	111,591,968	108,770,000
当期収入(商品)	1,400,000	10,322,631	10,000,000
当期収入合計(A)	109,980,000	121,914,599	118,770,000
前期繰越(現金)	61,188,313	61,188,313	68,606,315
" (商品)	0	0	0
収入合計(B)	171,168,313	183,102,912	187,376,315
II. 支出の部			
1. 事業費	95,160,000 (80.5%)	93,747,835 81.9%	102,740,000 81.4%
現金	93,760,000	83,425,204	92,740,000
商品	1,400,000	10,322,631	10,000,000
2. 募金活動費	17,000,000 (14.4%)	14,976,001 13.1%	17,000,000 13.5%
人件費	10,000,000	8,620,000	10,000,000
経費	7,000,000	6,356,001	7,000,000
3. 管理費	6,000,000 (5.1%)	5,772,761 5.0%	6,500,000 5.1%
人件費	2,000,000	1,953,625	2,500,000
経費	4,000,000	3,819,136	4,000,000
支出合計(C)	118,160,000 (100%)	114,496,597 100.0%	126,240,000 100.0%
現金	116,760,000	104,173,966	116,240,000
商品	1,400,000	10,322,631	10,000,000
III. 次期繰越(B-C)	54,408,313	68,606,315	71,136,315
1. 現金	54,408,313	68,606,315	71,136,315
2. 商品(在庫)	0	0	0